

授業科目名	日本語表現 (2000010)		
時間割名	日本語表現 (42103)		
時間割担当	鳥谷善史		
実施期	前期	単位数	1
曜日・時限	木・2		

授業の目標・概要

留学生を対象にした科目である。社会生活に必要な総合的な日本語能力の定着を目指し、言語知識の習得と日本語表現能力の育成を図る。日本における日常生活・社会事情・風土に関する資料を読み、様々な日本語の表現方法を学び、資料内容への理解を深めながら、中級レベルの文型・語彙・表現を使い、日本の社会や文化について、自分自身の考えや感想をまとめる日本語表現能力を養う

学習の到達目標

社会生活に必要な総合的な日本語能力の習得と大学での講義における教科書や研究論文などの論理的文章を正確に読み解く能力を養成する。長文を読み、簡潔に要約できる技術とその文章を肯定的または、否定的に論説できる技術の習得を目標とする。文章作成が中心になるが、併せて語彙や文法の知識の習得も目指す。

授業方法・形式

講義形式

授業計画

- 第1回 授業内容の説明と評価方法について
- 第2回 日本語の基本的な文法と文型について1(助詞)
- 第3回 日本語の基本的な文法と文型について2(助詞)
- 第4回 日本語の基本的な文法と文型について3(活用)
- 第5回 日本語の基本的な文法と文型について4(活用)
- 第6回 日本語の基本的な文法と文型について5(他動詞・自動詞・受け身)
- 第7回 日本語の基本的な文法と文型について6(他動詞・自動詞・受け身)
- 第8回 日本語の基本的な文法と文型について7(副詞・接続詞・疑問詞等)
- 第9回 日本語の基本的な文法と文型について8(副詞・接続詞・疑問詞等)
- 第10回 日本語の基本的な文法と文型について9(レポート・論文の文末表現)
- 第11回 日本語の基本的な文法と文型について10(レポート・論文の文末表現)
- 第12回 日本語の文字表記1(ひらがな・カタカナ・漢字の使い分け)
- 第13回 日本語の文字表記2(ひらがな・カタカナ・漢字の使い分け)
- 第14回 日本語の文字表記3(ひらがな・カタカナ・漢字の使い分け)
- 第15回 まとめの課題、もしくは小テスト及びその解説

成績評価の基準

授業に取り組む態度30%・課題、提出物30%・試験40%

授業時間外の課題

毎回課題に関する小テストをおこなうので、予習・復習時間を十分に確保すること。

メッセージ

全授業回数の3分の1以上欠席した場合。または、課題を提出しなかったり、試験を受けなかった場合は、単位を認定しない。なお、遅刻は2回で1回の欠席とする。

受講者の理解度や興味により、授業計画の一部を変更することがある。

教材・教科書

『短期集中 初級日本語文法総まとめポイント20』スリーエーネットワーク

参考書

授業内で、適宜紹介する。